

1. 投稿の資格、条件、形式

- 1) 本誌に投稿する筆頭執筆者は、原則として本学会会員に限る。また、共同執筆者は6名以内（編集委員会が認めた場合はその限りではない）とし、会員・非会員を問わない。また全著者が論文内容について異議のないことに同意していること。については全著者より所定の申込用紙に自筆の署名を得る（申込み用紙はホームページからダウンロードして、Eメールもしくはファックスにて送ること）。
- 2) 投稿は2012年2月1日より、インターネットによるオンラインに移行する。投稿を希望する者は日本創傷外科学会ホームページから投稿受付画面に進み投稿する。投稿規定が守られていない原稿は返却、訂正をもとめる。
- 3) 論文は他誌に未発表のものであり、かつ他の著作権を侵害しないものに限る。ただし例外として、他誌に発表されたものについて、異なる言語で書かれた論文など一定の要件を満たしたのものに関しては二次出版を認める（著作権および二次出版については、編集委員会に問い合わせのこと）。
- 4) 倫理上問題があると判断される論文、また特定会社の製品に関する論文は掲載を断ることがある。
- 5) 利益相反
利益相反の有無について、投稿区分を問わず論文の「結語」のあとに一文を明記すること。
 - ・記載例（ない場合）：本論文について他者との利益相反はない。
 - ・記載例（ある場合）：利益相反；本論文の研究資金などは株式会社□□から提供を受けたものである。
- 6) 投稿論文は、日本語論文とする。

2. 論文の採否、修正

論文の採否は編集委員会で決定し、要すれば書きかえ、修正をもとめる。あるいは、委員会の責任において字句の修正をすることがある。

3. 原稿の構成

- 1) 原稿様式
下記のファイル形式で保存し、それぞれ1ファイルにまとめること。
 - 本文ファイル：doc, docx
 - 図表ファイル：doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx, Jpeg
 - 動画ファイル：avi, mpg, mov, wmv
- 2) 原稿の書き方
 - (1) 横書き、ひらがな、常用漢字、新かなづかいを用い、“である”調とする。原稿には表紙ページ、図・表を除き下余白中央にページ番号を付ける。図、写真の最低解像度は1つあたり300dpiとし、図表ファイルの容量は1ファイル10MBまでを目安に作成する。図表は本文中の挿入順にそれぞれ番号を付ける。図（グラフ、写真）は図の下部に図番号、タイトル、説明文を記載し、表は表の上部に表番号とタイトルを記載する。動画は1ファイル50MBまでとし、3ファイルまで掲載できる。
※動画の修正、形式の変換等については著者が行う。また、画像の不正なコピーを防ぐために、画像の一部にサインを入れる事が好ましい。
 - (2) 原稿の内容は創傷外科学ならびにこれに関連のある領域とする。論文は以下の投稿区分に分類し、表題の前に明記すること。
 - ①総説：ある研究課題についての歴史的展望と現在の動向を紹介する論文。
 - ②原著：独創性に富み、目的と結論が明確な新発見のある研究論文。
 - ③速報：独創的な研究、アイデア、仮説などを内容とする比較的短い論文。
 - ④症例報告：創傷外科学的に興味ある症例についての報告。
 - ⑤特別講演：日本創傷外科学会学術集会で発表された特別講演の内容。

⑥投書：本誌掲載論文に対する意見および回答。

- 3) 総説、原著論文は和文タイトル、和文著者名（Corresponding author には*を付ける）と所属、英文タイトル、英文による著者名と所属、和文要旨（400字以内）、英文アブストラクト（200語以内）、序文、方法、結果、考察（考案）、謝辞、文献の順に記述する。
(例)
小山明彦¹⁾、古川洋志¹⁾、関堂 充²⁾、山本有平¹⁾ *
北海道大学大学院医学研究科形成外科学分野¹⁾
筑波大学大学院臨床医学系形成外科²⁾
- 4) 速報、症例報告は和文タイトル、和文著者名（Corresponding author には*を付ける）と所属、英文タイトル、英文による著者名と所属、序文、症例、考察（考案）、結語（まとめ）、謝辞、文献の順に記述する。
- 5) 原稿、図、表、写真、動画などすべてをオンライン投稿システムで提出すること。尚、原本は投稿者が責任を持って保管しておくこと。
- 6) **Key Word** は、和文要旨の下に日本語、英文アブストラクトの下に英文で5つ以内付記する。
- 7) 数字はアラビア数字を用い、度量衡の単位はm、cm、mm：kg、g、mg；day、h、min；l、dlなどとする。
- 8) 外国名等、和訳しにくい用語以外は日本語を用いる。
- 9) 年号は西暦にする。
- 10) 文献の配列は引用順とし、著者が3名以下の時は全員、4名以上の時ははじめの3名までを書き、あとは「ほか」または「et al」をつけ加える。本文中の引用箇所には肩番号をつけ照合する。また本文中に著者の名を出して文献を引用する際には、1名の場合：上田、2名以上：田原ら、Nozaki, et al とする。参考文献は特別な場合を除き20編以内とする。

〈雑誌〉

著者名：題名・誌名、発行年；巻：頁。

(和文例)

- 1) 朝戸裕貴、鈴木康俊、管 浩隆、ほか：
上顎癌切除後の二次変形の治療－再建材料の選択－。
形成外科, 2007; 50: 877-85.

(英文例)

- 2) Yamamoto Y, Sekido M, Furukawa H, et al: Surgical rehabilitation of reversible facial palsy: Facial-hypoglossal network system based on neural signal augmentation / neural supercharge concept. *J Plast Reconstr Aesth Surg* 2007; 60: 223-31.

〈単行本〉

著者名：題名・書名(版)、巻、編者名(編)、
発行地：発行所；発行年。頁。

(和文例)

- 1) 清川兼輔、田井良明：外側への拡大大胸筋皮弁による頭頸部広範囲欠損の再建。 *頭頸部再建外科最近の進歩(第2版)*, 形成外科アドバンスシリーズ I-1, 波利井清紀編, 東京：克誠堂出版；2002. 221-5.

(英文例)

- 2) Harii K: Groin flap. *Microvascular tissue transfer (1st Ed.)*, edited by Harii K, Tokyo: Igaku-shoin; 1983. 48-68.

〈電子ジャーナルからの引用は、URLは記載しない。但しDOIが付いている場合は明記すること〉

- 1) 1) 英文アブストラクトは、英語を母国語とする者の校閲を受けること。
- 1) 2) 校正は著者の責任で行うこと。

4. 掲載費

無料とする。

但し、特急掲載料は1ページにつき20,000円（総ページ数×20,000円）とする。

5. 論文発行

- 1) 論文の発行は電子ジャーナル型式（J-STAGE：科学技術情

報発信・流通総合システム)で行い、刷子体は作成しない。ただし企業が別刷を申し込む際には「別刷使用許諾申請書」を提出し、別途「企業向け別刷料金」で申し受ける。

- 2) 発行後 Web 上で論文は一般公開されるため、個人が識別される症例の提示は、著者が患者のプライバシー保護の観点から十分な注意を払い、且つ責任を負うものとする。

6. 著作権

- 1) 本誌に掲載された論文の著作権は日本創傷外科学会に帰属し、その全部または一部を無断で他誌へ掲載してはならない。

7. 問い合わせ先

株式会社 春恒社「創傷」編集事務局宛

e-mail: jsswc@shunkosha.com